

# JTBグループOB・OG会 第3回フォトコンテスト 作品募集

応募期間 2016年9月1日(木)～2016年10月31日(月)

## 募 集 要 項

一昨年より開始した「フォトコンテスト」も今年で3年目を迎えます。ご自宅でお気軽に参加が可能である点、並びに広く会員相互間の日ごろの活動内容の紹介と情報交換を深めることを目的に、34名・91作品のご応募をいただきました昨年に引き続きまして、本年も全国の会員を対象に「第3回フォトコンテスト」を開催いたします。このたびその募集要項がまとまり以下のとおりご案内申し上げます。会員の皆様におかれましては、これまで以上に多くの会員の皆様からのご応募を賜りますよう、当会本部一同心よりお待ち申し上げます。

### ■応募テーマと各賞

応募テーマ		(A)「旅」部門	(B)自由テーマ部門	賞品 【ナイスギフト】
		「旅」とわかる写真であれば、風景・人物等何でも構いません。また「小さな旅」・「日帰りの旅」も対象とします。	テーマは設けません。応募規定に則った写真であれば、何でも構いません。	
各賞	最優秀賞	1作品	1作品	各10,000円
	優秀賞	1作品	1作品	各5,000円
	準優秀賞	2作品	2作品	各3,000円
	審査員特別賞	1作品	1作品	各3,000円

### ■審査員長・審査員 (計4名)



伊東 浩 (審査員長)

【プロフィール】 2011年より日本旅行業協会(JATA)で旅行者を対象とした写真教室の開催に注力。2013年には(株)JTB グランドツアー&サービスの写真クラブ講師に就任。総合旅行業務取扱管理者、総合旅程管理主任者の資格も有し、同社のオーロラ撮影ツアーに講師として同行するなど「添乗カメラマン」としても活躍中。また Travel.jp 等メジャーな旅行WEBサイトに旅行促進記事を数多く出稿している。昨年、カメラメーカーの(株)ニコンを定年退職し、現在は日本旅行写真家協会に所属するプロ写真家として、旅に関わる写真を得意としている。



### 浅岡 恵（審査員）

【プロフィール】神奈川県平塚市出身。公益社団法人 日本写真家協会(JPS)会員。国際交流委員歴任。2003年よりベトナムを撮り続けて、雑誌や写真展などで発表。(株)アマナ、(株)アフロなどへの写真を提供や、派遣のカメラマンとしても活動。大学、専門学校、広告会社にて講師や写真コンテストの審査員などを務める [Wan]「ハッピートリマー」ペットライフ社の取材撮影等著書多数。主な活動内容は、エディトリアル／英語取材、撮影、文章(約30ヶ国 100都市以上を訪問)、旅写真、人物撮影、料理、企業広告、求人取材撮影、動物写真(犬猫と人とのかかわり)等。



### 高橋 洋之（審査員）

【プロフィール】アマチュア写真家。JTB印刷株式会社勤務。日本大学芸術学部写真学科卒。主に大判カメラでの風景写真撮影を得意とする。ほかにブライダル撮影や商品撮影等の経験がある。銀塩写真への造詣が深く、デジタル写真全盛期の現在でもアナログへの想いは強い。現在は同社にて営業として勤務しており、BOB会本部および関東支部を担当している。

### 鈴木 憲治（審査員） BOB会本部理事(組織担当)

#### ■応募期間

2016年9月1日(木)～10月31日(月) 2ヵ月間

#### ■審査発表・受賞作品・応募作品の紹介

- ・受賞者へは11月末までに、お電話またはメールにてご通知いたします。また、12月上旬にBOB会ホームページにて審査結果および受賞作品を発表します。
- ・今回より全ての応募作品をホームページにてご紹介いたします。(1年間掲載予定)
- ・BOB新聞第8号(2017年1月1日発行)にて、受賞者の発表と最優秀賞作品を紹介します。
- ・各支部発行の会報誌にて、支部所属の受賞者を発表します。

#### ■応募形態

- ・単写真のデジタル又はプリントでの応募(インクジェット可、組写真は不可)。
- ・プリントサイズは、A4サイズ、または2Lサイズのいずれかのみ  
(六切・四切等、上記以外のサイズでの応募は失格になります。)
- ・カラー・モノクロ自由。但し、スライドでのご応募はできません。
- ・2015年1月1日以降に撮影された作品のみ受け付けます。

## ■応募方法と規定

### 1. 応募方法

#### <おひとり合計3点まで応募できます>

デジタル 応募	プリント 応募
<ul style="list-style-type: none"><li>●応募フォーム(別紙)をダウンロードし一度保存した上で、必要事項をご入力いただき、メールに添付して写真と同時に送ってください。</li><li>●応募フォームは、応募写真1点ごとに1枚必要になります。</li><li>●写真1点につき1メールにて、送ってください。(最大3メール)</li><li>●応募作品画像の容量は1枚3MB未満に調整してお送りください。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●応募サイズは、A4または2Lサイズのいずれかになります。プリント紙は、コピー用紙ではなく、必ず写真用のものをご使用ください。</li><li>●応募フォーム(別紙)を印刷し、必要事項をご記入(ご入力)の上、該当のプリント写真の裏面に透明のセロハンテープで2カ所を短くしっかりと貼付しご応募ください。(ノリ付けは、プリント写真が波を打って曲がってしまう恐れがありますのでご遠慮ください。</li><li>●応募フォームの貼付の無い応募写真は失格になります。</li><li>●応募フォームは、コピーでも構いません。</li><li>●1人で両方のテーマに応募する場合、同一封筒に入れて送っていただいても構いませんが、送付中の事故や破損については、その責任を負いかねます。</li></ul>
<b>応募先 : 「BOB会本部事務局 フォトコンテスト」係</b>	
Email: <a href="mailto:jtbob@jtb.gr.jp">jtbob@jtb.gr.jp</a>	〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-43-19 JTBビル1階 BOB会事務局
<b>応募方</b>	原則として、応募会員より直接上記宛て応募していただきますが、支部単位で取り纏めていただいても応募することを可とします。 詳しくは支部会報誌・支部ホームページ等、所属支部での応募方法をご確認ください。
<b>お問合せ先</b>	
電話 03-6912-8810(平日10:00~17:00)、または上記 Email アドレス	

### 2. 応募規定

- ① 合成写真(デジタル・プリントとも)の応募はご遠慮下さい。
- ② 応募作品は応募者自身が撮影した未発表のものに限ります。他人の名前を使用し応募した場合は失格になります。ただし、応募者本人の製作による市販目的のない出版物や支部発行の会報誌、本人のブログやホームページに掲載した作品、各支部主催の作品展等審査のない写真展に出品した作品は応募できます。
- ③ 応募作品に、他人が権利を有する著作物が写っている場合、または他人の肖像が写っている場合は、その著作物の権利者またはその肖像ご本人(20歳未満の場合は保護者)から事前に承諾を得たうえでご応募ください。

応募作品、応募作品に写って著作物・肖像権について、第三者から使用禁止、損害賠償の請求、苦情、申立て等を受けた場合、当会はその一切の責任を負わないものとし、応募者がその責任と一切の費用負担によりその請求、苦情、申立て等を処理解決していただくものとします。

- ④ 応募作品の著作権は応募者(=撮影した方)に帰属しますが、受賞後のホームページや各新聞での紹介等の使用権は当会に帰属します。
- ⑤ 今年度より応募作品は、応募会員氏名・所属支部(関東支部は、倶楽部名まで)と共に、原則として全てホームページに掲載することといたします。
- ⑥ テーマ(A)・テーマ(B)、ともに1人1賞とします。
- ⑦ 応募作品は、原則として返却できませんのでご了承ください。
- ⑧ 作品の取扱いには十分注意いたしますが、万一の事故に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- ⑨ 応募規定に違反した場合、二重応募、類似と判断された作品は、受賞決定後でも取消すことがあります。
- ⑩ プリント応募した作品が受賞した場合、ホームページ等にてご紹介する為、後日原版(画像データ、ネガ、ポジなど)を提出していただきます。提出がない場合は、受賞を取消す場合がありますので、予めご了承ください。尚、デジタルデータは返却しませんので、コピーをCD-Rなどに保存してご提出ください。ネガ、ポジについては、2017年2月末までに返却予定です。

### 3. 応募にあたっての個人情報について

応募時に応募フォーム(別紙)に記載いただく個人情報は、受賞通知・賞品などの送付など本コンテストを運営するために必要な範囲で使用させていただきます。また受賞発表や応募作品のホームページ等への掲載に使用する作品などは、撮影者の氏名や所属支部名(関東支部は所属倶楽部名)を明示させていただく予定です。

### 4. 審査員からの撮影・応募にあたってのアドバイス

- ① フォトコンテスト応募にあたって最も大事なものは、撮影する写真が「テーマに沿った写真であること」「未発表の作品であること」「決められた鑑賞サイズであること」です。
- ② デジタル応募の場合、レタッチをされた場合でも、リサイズ処理はしないで下さい。撮ったままのオリジナルデータを応募戴ければ、公平かつスムーズな審査ができます。
- ③ テーマについてですが、テーマ(A)の「旅」では、日常生活の時間・空間からちょっと離れた処での情景を撮って欲しいと思います。  
また、テーマ(B)の自由テーマでは、テーマ(A)の「旅」以外の作品に期待しております。
- ④ 審査基準はテーマ性や人間味、ほのぼの感などの主観要素はもちろん大切ですが、写真としての客観的要素、即ちピント位置・ボケ味、色再現、露出、ブレなども重要な審査の対象となります。

### 2015年度 第2回フォトコンテスト最優秀賞



【旅行部門】

(斎藤 百代様／関東支部)



【家族部門】

(大橋 政信様／北海道支部)